



Liberal & Democratic

vol.010

自由民主党 蒲郡市議団通信



新年あけましておめでとうございます

よびた たかひろ 団長 喚田 孝博



皆様には輝かしい新春を迎え、心からお慶び申し上げます。昨年、平成から令和の新しい時代の幕開けとなり、本市におきましても市制施行65年の節目の年でもありました。また昨年は、4月の市議会議員選挙、10月には8年ぶりとなる蒲郡市長選挙が執行され、新市長が誕生し、令和時代の新たな蒲郡のまちづくりがスタートすることとなりました。この1月1日より「シティーセールス室」が新たに設置されたことや、今年4月と11月にはダイヤモンド・プリンセス号が寄港することなど蒲郡からの新たな発信力が期待されることです。力強い地域経済と人・ひとのつながりが豊かな地域福祉・社会をつくるとの思いで、2027年リニア新時代を見据えて活動していく所存です。

たけうち しげやす 副議長 竹内 滋泰



新春のおよこびを申し上げます。本年もよろしくお願いたします。昨年度は蒲郡市議会副議長として、今までに経験したことのない仕事に携わらせて頂いております。また、かねてより検討して参りましたタブレットが、今年の6月議会より導入されました。タブレットを最大限に活用し議会の活性化に努めて参ります。12月議会の一般質問で、「令和2年度の予算編成について」質問をいたしました。市の財政は依然厳しく、経常収支費率が90.1%と財政の硬直化が見られますが、実質収支比率は11.1%と適正数値よりも高い水準となっていることから、当初予算に想定できない事態にも、補正予算において基金の取り崩しや一時借入れ等をせず、留保財源で対応できているのが現状です。市の借金、市債残高については、平成22年度末489億8千万円が平成30年度末417億6千万円と72億2千万円の減少となっています。非常に堅実な財政運営を行っていると言えます。蒲郡市では11月7日に鈴木ひさき新蒲郡市長を迎えて、ニューリーダーと共にこれからの蒲郡市政の舵取りを担って参りたいと考えております。これからも引き続き「市民から信頼される議会」を目指して全力で取組んで参ります。

おおむかい まさよし 文教委員長 大向 正義



令和元年12月議会で、蒲郡市医師会との休日急病診療所と人間ドックの委託料清算金請求事件の総括をいたしました。それは、平成18年4月28日付けA4用紙44枚の「内部告発資料」から始まりました。平成20年3月21日の訴訟の議決。平成25年3月21日の和解の議決。平成30年3月の蒲郡医師会委託の人間ドック廃止、4月市民病院における開設。昨年9月に、蒲郡医師会から「訴訟の和解の条件である、一次医療と二次医療の医療現場における一体的運用の実現及び在宅医当番制制度における休日急病診療所等との一元的運用及び定点化ができない」との協議申し入れがありました。今後益々必要になる訪問診療や看取りへの応需している医師に疲弊を招くのでは、仕方ありません。13年続いた私の戦いは、終焉を迎え、私の心の中ではノーサイドといたします。

あおやま よしあき 幹事長 青山 義明



新年あけましておめでとうございます。昨年の市議会議員選挙におきましては、皆様のご支援を頂き当選することが出来ました。今まで以上に精一杯頑張っております。さて、昨年の12月議会では、
①新体育館について
②企業誘致について
③シティーセールスについて
一般質問をさせて頂きました。新体育館については今後議論を深め検討して行きたいとご答弁頂きました。浜町にある仮設ソフトボール場については、重要な企業誘致で今後情報収集して進めてゆくということです。シティーセールスについては1月から推進室を設け、力を入れてゆくということでした。今後とも蒲郡市と両輪で頑張っております。

おおば やすのり 副幹事長 大場 康議



令和二年の新春を迎え、皆様におかれましては本年が輝かしい一年と成りますことを心よりご祈念申し上げます。昨年を振り返りますと様々な出来事がありました。3月には大型クルーズ船のダイヤモンドプリンセス号が蒲郡へ初寄港しました。又6月に市民病院に手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入され高度医療の充実が図られて参りました。10月には蒲郡東部地区に「とがみるりんバス」の運行が始まり、今後の他地区でのバス運行のきっかけとなる出来事でありました。特に昨年の出来事としては、10月の市長選挙において鈴木寿明新市長が誕生したことであります。令和元年よりの蒲郡市のまちづくりにおいて新市長のリーダーシップを存分に發揮して欲しいと存じます。私共議会与市長との二元代表制のもと、しっかりと議論を重ね、市民の思いを反映させていける様努めて参ります。

おおすか はやし 副幹事長 大須賀 林



一年前にはまだサラリーマンでしたが、市会議員として初めての新しい年を迎えることとなりました。議員としての活動はまだごちないものですが、市民生活がよりよくなりますようせいっぱい取り組んでまいります。12月議会では台風等による風水害被害防止に向けた市の対応について、今後どうしていくのか質問しました。市長は防災対策は行政の責務であり、危機管理を「ワンチーム」で誠心誠意取り組むと答弁いただきました。自分が今回特に訴えたかったのは、雨水対策で現状10年に1回の確率降雨を前提とした雨水排水の設計がされていますが、近年の降雨の状況を見ると100年に1回の確率とされた雨が当たり前のようにならなくなってきており、より高い安全度が確保できるよう設計レベルを上げるべきと考えます。

すずき まさひろ 鈴木 将浩



新年明けましておめでとうございます。9月には防災協定や漁業振興、12月には公式ホームページ運用について議会で一般質問をさせていただきました。いずれも一朝一夕で解決することではありません。みなさまが安心安全に暮らせるように、また未来の地域産業についても考えながら、引き続き関係各所と話を進めてまいります。今後もみなさまの声に耳を傾け、しっかりと市政へ訴えていくとともに、日頃の活動や情報発信についても、より一層力を入れてまいります。引き続き、本年もどうぞよろしくお願いいたします。